

令和 6 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 情報社会学部

フリガナ ミタ タカアキ
氏 名 見田 隆鑑

研究期間 令和 6 年度

研究課題名 デジタル技術を活用した地域の文化財の保存・活用に関する実践的研究

研究組織

	氏 名	学 部	職 位
研究代表者	見田隆鑑	情報社会学部	准教授
研究分担者	栢窪優二	情報社会学部	教授

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

本研究では、大学と地域の博物館や行政の文化財担当部署が連携しながら、地域に伝わる仏像の調査研究を実施するとともに、デジタルデータによる記録と情報発信を行う。また、地域に伝わる仏像の魅力を伝える映像記録を制作し、インターネット上に公開する。さらに、今年度の研究では、X 線 CT 撮影による仏像の内部探査を文化財調査の中に取り入れることで、肉眼による表面観察からは判断できない作品の構造や納入物などについての情報の取得を図るとともに、3D データを取得するなど文化財としての仏像が持つ「情報」を様々な形で記録し、発信していくことを目指す。合わせて、どのような情報発信が地域の人々を中心に文化財への意識を向けさせる為の効果的な方法なのかも検証する。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

本研究では、美術史学を専門とし、文化財調査にも多く関わっている研究代表者（見田）が、地域の博物館や行政の文化財担当部署と折衝し、共同研究全体の取りまとめを行う。また、映像ジャーナリズムを専門とする研究分担者（栢窪）と共同で、地域に伝わる仏像の中から社会に広く情報発信すべき対象を選定し、4分程度で視聴できる映像記録を制作し、YouTube および研究代表者（見田）が管理するホームページで配信する。今年度は、昨年度に調査に関わった名古屋市守山区の大森寺が所蔵する仏像について継続して調査を行い、特に「嵯峨光仏」と呼ばれる仏像について X 線 CT 撮影を行い、表面観察からは判断できない内部構造や像内にこめられた納入物について詳しく調査を実施する。本研究によって得られたデータ及び成果物は、「椋山女学園大学 学園研究費助成金」による成果であることを明示して地域に還元する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

映像記録の制作・配信は、研究分担者（柘窪）及びそのゼミ学生の協力を得て、3件の映像記録を制作・配信した。2件は愛知県大府市の仏像で、平成29年度から継続している「大府市仏像シリーズ」を継続するものである。うち1件は、大府市横根町の普門寺の木造薬師如来立像（大府市指定文化財）に関する映像記録で、この像は当初は藤井神社に祀られた仏像であったが、神仏分離で薬師寺（旧大日堂）に移り、薬師寺の廃寺に伴い文化財修理を経て普門寺に移された像である。もう1件は、北崎町の蔵福寺の木造阿弥陀三尊像で、指定文化財ではないが、台座部分に天和2（1682）年に寺部強右衛門により寄進されたことを示す墨書銘を残す作例である。今回の撮影時には平安時代後期の制作とみられる仏像が確認できたことから、指定文化財の候補となる作品として基礎情報の記録を行い、調書を大府市歴史民俗資料館に提供した。また、中部経済新聞の寄稿文や、研究代表者（見田）が令和7年2月16日に大府市神田公民館において担当した「大府市の仏像に親しむ」と題する講座を通して、今回の研究成果も含めた大府市内の仏像の特徴や魅力について報告を行った。また、一宮市にある妙興寺の塔頭寺院の一つ清寥院の木造天室禪師坐像（一宮市指定文化財）の映像記録も制作・配信した。これにより妙興寺及びその塔頭寺院に所蔵されている指定文化財については概ね映像記録を制作・配信し終えたことになる。また、昨年度から継続している名古屋市守山区・大森寺の仏像調査を引き続き実施し、特に同寺所蔵の木造阿弥陀如来坐像（「嵯峨光仏」）について、X線CT撮影を名古屋市工業研究所で実施し、その構造や納入物について貴重な情報を記録することができた。また、同時に3Dデータも取得することができた。その成果は、椋山女学園大学情報社会学部紀要第1号に「名古屋市守山区・大森寺の諸像に関する一考察-特に「嵯峨光仏」と呼ばれる尊像の解釈を中心に-」と題する論文を投稿し、また、令和7年2月13日の中部経済新聞紙面でも大森寺の「嵯峨光仏」や名古屋市の仏像に関する寄稿文を執筆した。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①仏像	②文化財	③デジタルアーカイブ	④映像記録
⑤X線CT撮影	⑥嵯峨光仏	⑦大森寺	⑧地域連携

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

【論文】見田隆鑑、「名古屋市守山区・大森寺の諸像に関する一考察-特に「嵯峨光仏」と呼ばれる尊像の解釈を中心に-」、椋山女学園大学情報社会学部紀要、2025年、第1号、pp.1-37（頁数は予定）

【新聞寄稿文】見田隆鑑「映像で伝える地方仏の魅力-地域文化の継承目指して-」、中部経済新聞オープンカレッジ、2024年6月12日、見田隆鑑「名古屋市の仏像に親しむ-徳川光友公の「嵯峨光仏」、中部経済新聞オープンカレッジ、2025年2月13日

【映像記録】 いずれも椋山女学園大学 YouTube チャンネルで公開

- ・「薬師如来立像 大府市・普門寺」 <https://www.youtube.com/watch?v=Ro1NIx9MOBg>
- ・「大府市・蔵福寺」 <https://www.youtube.com/watch?v=knkHSq1t1s>
- ・「木造天室禪師坐像-清寥院-」 <https://www.youtube.com/watch?v=Ad4nquMVV4o>